

# Durare Chamber String Ensemble 2022

8月31日 (Wed)

18:15開場 18:45開演

シリーズ3

## バロックの世界

J.S.バッハ：ブランデンブルク協奏曲第3番ト長調、第6番 変ロ長調  
チェンバロ協奏曲4番、バイオリン協奏曲2番、シャコンヌ BWV1004

バッハの人気曲を中心にした公演。チェンバロ・ヴァイオリン協奏曲と、それぞれの楽器の魅力をお楽しみください。とりわけブランデンブルク協奏曲第3番は、個々の技量が試される曲を、豊嶋泰嗣と共にメンバーの熱のこもった演奏をお届けします。

【ヴァイオリン】 鈴木崇洋 田中光 丹沢絵美 檜垣彩乃 藤原綾 松田みどり  
【ビオラ】 井野公実 柿本朱美 依田郁子  
【チェロ】 河井裕二 野村友紀 山際奈津香 【コントラバス】 高柳安佐子

9月30日 (Fri)

18:15開場 18:45開演

シリーズ4

## 拘りのピアノ5重奏

J.シベリウス：アンダンテ・フェスティーフォ JS 34b  
R.V.ウィリアムズ：「グリーンズリーヴス」による幻想曲  
R.V.ウィリアムズ：ピアノ五重奏曲 ハ短調  
F.シューベルト：ピアノ五重奏曲 イ長調「ます」Op. 114, D. 667

中心メンバーによるピアノ五重奏をお楽しみいただきます。今年、生誕150年のR.V.ウィリアムズと、彼が生涯にわたり尊敬していたシベリウス。そしてシューベルトの名曲を島田真千子と共に、より緻密で息のあったアンサンブルをお届けします。

【ヴァイオリン】 鈴木崇洋 丹沢絵美 松田みどり 森下麻奈  
【ビオラ】 井野公実 柿本朱美 【チェロ】 坂上諒 高木俊彰 【コントラバス】 高柳安佐子



ゲストコンサートマスター  
島田真千子



ピアノ  
居福健太郎



ゲストコンサートマスター  
豊嶋泰嗣

チェンバロ  
中野振一郎

10月20日 (Thu)

18:15開場 18:45開演

シリーズ5

## 2つの四季

芥川也寸志：弦楽のための三楽章（トリプティック）  
ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲集「四季」Op.8  
ピアソラ／デシャトニコフ編：ブエノスアイレスの四季

ヴィヴァルディとピアソラ。時代も国も違う2人の四季をお楽しみいただきます。ピアソラは今年没後30年を迎えるメモリアルイヤー。クラシックのみならず様々なジャンルに精通した石田泰尚を迎えて、DCSEの可能性を広げます。

【ヴァイオリン】 鈴木崇洋 檜垣彩乃 安田祥子  
【ビオラ】 井野公実 柿本朱美 【チェロ】 坂上諒 山際奈津香  
【コントラバス】 高柳安佐子 【チェンバロ】 築山栄以



ゲストコンサートマスター  
石田泰尚

# Durare Chamber String Ensemble

### デュラーレ チェンバー ストリング アンサンブル

東海地区を中心に活躍するプロの演奏家により結成した弦楽アンサンブル

クラシック界の第一線で活躍するゲストを迎えて、こだわり抜いた本気の音楽をお届けします。

## ザコンサートホール

名古屋・伏見・電気文化会館

【各公演全席自由】一般3,500円 学生2,000円

【3公演セット券】一般9,000円 学生5,000円

【主催・お問合せ】

Durare Chamber String Ensemble ☎052-526-8920

→公式サイト、チケット購入や演奏動画、メイキング映像など公開しています。ぜひご覧ください。

【チケット取り扱い】6月21日(火) 発売開始

- ・チケットぴあ (Pコード /8/31:221-149 9/30:221-150 10/20:221-151)
- ・名古屋市文化振興事業団チケットガイド ☎ 052-249-9387(平日9:00~17:00/郵送可)
- ・アイチケット ☎0570-00-5310 ・芸文プレイガイド ☎052-972-0430

- 本公演は映像収録が行われます。ご来場のお客様が映像に映り込む場合がありますことを予めご了承ください。
- 感染症拡大防止のため、ご体調管理やマスク着用、消毒対策等にご協力くださいますようお願い申し上げます。



# Durare Chamber String Ensemble

## DCSE コンサートシリーズ 2022

8月31日(Wed) シリーズ3 バロックの世界



豊嶋泰嗣(ゲストコンサートマスター)

桐朋学園女子高等学校、桐朋学園で江藤俊哉、アンジェラの両氏に師事。在学中よりヴァイオリン、ヴィオラ奏者としてソリスト、室内楽、コンサートマスターとして演奏活動始める。86年、大学卒業と同時に22歳で新日本フィルのコンサートマスターに就任し楽壇デビュー。現在は新日本フィルの桂冠名誉コンサートマスター、九州交響楽団の桂冠コンサートマスター、兵庫県立芸術文化センター管弦楽団のコンサートマスター、京都府交響楽団の特別名誉友情コンサートマスターをつとめている。指揮者・小澤征爾との30年に渡る信頼関係から、サイトウ・キネン・オーケストラや水戸室内管でもコンサートマスターを務めている。また、近年ではコルンゴルト、三善晃、バルトークなど、近現代の協奏曲のソリストとしてもオーケストラの定期演奏会に出演。16年のデビュー30周年にはチェンバロの中野振一郎とバロックのレパートリーによる演奏会を開催して好評を博した。また17年と18年の2年に渡りモーツァルトのヴァイオリン協奏曲全曲演奏を指揮者無しの弾き振りで大阪交響楽団と共演。その演奏はライブレコーディングでCD化されている。さらに19年には結成20周年を迎えたアルティ集奏四重奏団の演奏会や、ピアノフォルテと演奏したベートーヴェンのヴァイオリンソナタ全曲演奏など、関西を拠点にした新たな活動に注目が集まっている。19年11月にはバッハのヴァイオリン全作品を3回に分けて演奏するコンサートを京都で開催し、その成果により第29回青山音楽賞 青山賞を受賞した。また、京都市立芸術大学、小澤征爾音楽塾、アルカス SASEBOのジュニアオーケストラの指導など、教育活動にも力を入れている。CDはポニーキャニオンやオクタピアレコードからリリース。室内楽のCDも海外レーベルも含め多数リリースされている。91年村松賞、第1回出光音楽賞、92年芸術選奨文部大臣新人賞受賞。平成25年度兵庫県文化賞受賞。京都市立芸術大学教授、桐朋学園大学および大学院講師。



中野振一郎(チェンバロ)

京都生まれ、奈良在住。仏・ヴェルサイユ古楽フェスティバルにてK.ギルバートやB.ファン・アスペレンとともに『世界の9人のチェンバリスト』に選出。米・パークレー古楽フェスティバルに最年少で招聘され、英・ウィグモア・ホールにてデビューリサイタルを開催。独・ライプツィヒ・バッハ・フェスティバルなどヨーロッパを中心に各国に招聘されている。デビューから現在に至るまで、国内古楽シーンを常に牽引している世界的チェンバリストである。高貴なイメージの楽器ではあるが、中野は軽快なトークでも人々を魅了する。しかし歴史的な出来事にあたかも実際立ち会ったかのように語るため、聴く者をバロック時代にいる感覚に陥らせる。テレビ、ラジオ出演は多く「NHKナゴヤニューイヤーズコンサート」では5年間に渡り司会を務めた。近年では、梶裕貴ほか人気声優による「声優朗読劇フォアレーゼン」に出演するなど、その活動領域は従来のチェンバリストのイメージを覆し続けている。京都市立芸術大学、名古屋音楽大学、大阪音楽大学等で後進の指導に当たる。著書は『チェンバロをひこう〜憧れの楽器をはじめのための名曲集』。受賞歴は大阪文化祭金賞、文化庁芸術祭音楽部門・新人賞、京都府文化賞、兵庫県芸術奨励賞、文化庁芸術祭・大賞他。名前は朝永振一郎に由来。

9月30日(Fri) シリーズ4 拘りのピアノ5重奏



島田真千子(ゲストコンサートマスター)

名古屋出身。東京芸大附属音楽高校を経て1998年東京芸術大学を首席で卒業・安宅賞受賞。その後ドイツへ留学し6年間ヨーロッパの各地で研鑽を積み、2005年デトモルト音楽大学院を最優秀で卒業、ドイツ国家演奏家資格を取得。これまでに全日本学生音楽コンクール1位、日本音楽コンクール2位、日本モーツァルト音楽コンクール1位、パガニーニ国際ヴァイオリンコンクールやJ.S.バッハ国際コンクールなど国内外のコンクールで入賞。愛知県芸術文化選奨文化賞、名古屋市芸術奨励賞を受賞。これまで田中千香士、マルコ・リッチ、アイザック・スターンの各氏等に師事。ソリストとしては2000年に東京と名古屋でのリサイタルデビュー以降、東響、名フィルなど様々なオーケストラと共演。また1998年からサイトウキネンオーケストラのメンバーとして毎年セイジオザワ松本フェスティバルに参加している。留学から帰国した2014年以降、室内楽では全国各地の主要ホールでの公演に参加、海外でもドイツ等でのリサイタルなど、精力的に活動をしている。これまでに Altusレーベルよりバッハの無伴奏ソナタ & バルティータ集およびヴィヴァルディ協奏曲「四季」のCDをリリース、2016年にはバッハ無伴奏6曲全曲のリサイタルで好評を博す。近年は後進の指導にも力を注いでおり、愛知県立芸術大学および京都市立堀川音楽高校の非常勤講師を務めている。現在、セントラル愛知交響楽団ソロコンサートマスター、水戸室内管弦楽団、Veritas弦楽四重奏団のメンバー。NPO法人イエローエンジェルより、G.B ガダニーニが1769年に製作した楽器を貸与されている。公式ホームページ <http://machikoshimada.com>



居福健太郎(ピアノ)

岡崎市出身。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、東京芸術大学を経て同大学院修了。大学院修了ピアノ演奏優秀者による安川記念ジョイントリサイタル(浜離宮朝日ホール)に選出される。第4回浜松国際ピアノアカデミーコンクール第2位、及び特別審査委員賞受賞。第5回東京音楽コンクール第3位。イーヴォ・ポゴレリッチ、マリア・ジョアン・ピリス、ブルーノ・レオナルド・ゲルバーなどの著名なピアニストのマスタークラスを受講。これまでにソリストとして東響、日本フィル、アンサンブル金沢、セントラル愛知交響楽団、仙台フィルのオーケストラと共演。2022年6月には名フィル定期演奏会にソリストとして共演した。「題名のない音楽会」等のメディア出演、都民芸術フェスティバルオーケストラシリーズのソリスト、東京・春・音楽祭、アフィニス夏の音楽祭等の音楽祭に参加し、国内外で充実した演奏活動を展開している。室内楽奏者として五嶋龍、戸田弥生、山崎伸子、ヘンリック・ヴィーゼ(バイエルン放送交響楽団首席奏者)との共演や小菅優とのピアノデュオをはじめ多くの奏者から強い信頼を得ている。また歌曲伴奏にも積極的に取り組み、第17回友愛ドイツ歌曲(リート)コンクール優秀共演者賞受賞。後進の指導にも力を注いでおり、現在東京藝術大学ピアノ科非常勤講師、同大学音楽科演奏研究員を務めている。

10月20日(Thu) シリーズ5 2つの四季



石田泰尚(ゲストコンサートマスター)

神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、2001年神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来「神奈川フィルの顔」となり現在は首席ソロ・コンサートマスターとしてその重責を担っている。これまでに神奈川文化賞未来賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。結成時から20年以上参加する YAMATO String Quartet、自身がプロデュースした男性奏者のみの弦楽アンサンブル「石田組」など様々なユニットでも独特の輝きを見せる。2018年には石田組が NHK-FM「ベストオブクラシック」およびBSプレミアム「クラシック倶楽部」で放送されるその熱いステージの模様は大きな反響を呼び、2019年にはEテレ「ららら♪クラシック」で特集が組まれた。2020年4月より京都市交響楽団特別客演コンサートマスターを兼任。最新アルバムは2021年12月リリースされた「PIAZZOLLA LIVE」。2022年6月に初の著書となる「音楽家である前に、人間であれ！」を刊行。使用楽器は1690年製 G.Tononi、1726年製 M.Goffriller。